第一講　文法

Step 1

一　次の～～線の部分と、修飾・被修飾の関係にあるものはどれか。

前からよく僕は、ア<u>こんな初夏に</u>、一度、イ<u>この高原の村に</u>来て見たいものだとウ<u>言っていましたが</u>、やっと今度、その宿望がエ<u>かなったわけです</u>。

（堀（ほり）辰雄（たつお）「美しい村」より）

【栃木県】

二　次の――部の動詞の活用の種類が他と異なっているものを、ア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

厳しい寒さの中を、二千里の果てから、ア<u>別れて</u>二十年にもなる故郷へ、わたしはイ<u>帰った</u>。もう真冬の候であった。そのうえ、故郷へウ<u>近づく</u>につれて、空模様は怪しくなり、冷たい風がヒューヒュー音をたてて、船の中まで吹き込んできた。苫（とま）のすきまから外をエ<u>うかがう</u>と、鉛色の空の下、わびしい村々が、いささかの活気もなく、あちこちに横たわっていた。

（魯迅（ろじん）著、竹内好（たけうちよしみ）訳「故郷」より）

【埼玉県】

三　次の文中の――線をつけた「の」のうち、同じはたらきをするものの組み合わせとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

雪の（ア）降り積もった広場で、近所の（イ）友だちと時のたつ（ウ）のも（エ）忘れて雪合戦をした。

1　アとウ　2　アとエ　3　イとウ　4　イとエ

【神奈川県】

四　次の＝＝部「で」と、同じ意味（働き）で使われている「で」を含む文を、あとのア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

昨日、自動車で家族と牧場に出かけた。

ア　日本は平和である。
イ　やかんでお湯を沸かす。
ウ　彼は疲れていたようである。
エ　シラコバトが飛んでいる。

【埼玉県】

Step 2

五　(1)〜(4)の――の部分について、敬語の種類が他の三つと異なるものはどれですか。一つ答えなさい。

(1) どうぞご覧になってください。
(2) 明日お話をうかがいます。
(3) 何になさいますか。
(4) 会にはいらっしゃいますか。

【岡山県】

六　次の会話は、PTA主催のレクリエーションで食堂の係になった中学生の山田さんとお客さんが話した内容の一部である。――線をつけた部分ア〜カの中から、敬語の使い方が**正しくないものを二つ**選びなさい。

山田さん「いらっしゃいませ。何にアなさいますか。」
お客さん「カレーライスをください。辛口はありますか。」
山田さん「辛口はありませんが、小袋の辛みスパイスをイ差し上げますので、お好みでかけて、ウいただいてください。エお使いになりますか。」
お客さん「では、辛みスパイスをください。」
山田さん「分かりました。ほかに必要なものがありましたら、遠慮なくオ申し上げてください。」
お客さん「ありがとう。大丈夫です。」
山田さん「では、準備ができましたら、カお呼びします。」

【福島県】

七

敬語の使い方として誤った表現を含む文を、次のア〜エから一つ選び、その記号を書け。

ア　母が先生にお会いしたいと申しております。
イ　私たちの学級新聞ができましたので、先生も拝見してください。
ウ　学習発表会の当日は、お客様が大勢いらっしゃいます。
エ　春休みに、先生のお宅にうかがってもよろしいですか。

【高知県】

八

次の文の申し上げについて、適切に説明したものを、あとのア〜エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

卒業式で母が先生にお礼を申し上げた。

ア　尊敬語で「母」への敬意を表している。
イ　尊敬語で「先生」への敬意を表している。
ウ　謙譲語で「母」への敬意を表している。
エ　謙譲語で「先生」への敬意を表している。

【和歌山県】

Step 3

九

次の――部の文節と‖部の文節の関係を、あとのア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

丘の　上の　大きな　家まで　ゆっくり　歩く。

ア　主述（主語・述語）の関係　　イ　修飾・被修飾の関係　　ウ　並立の関係　　エ　補助の関係

【埼玉県】

十

次の問いに答えなさい。

一　次の文の――線部の「あたかも」の品詞を、後のア～エから一つ選び、その記号を書け。

今日は、あたかも春が来たかのように暖かい。

ア　動詞　　イ　形容詞　　ウ　副詞　　エ　助動詞

二　次の文の――線部の「高く」と‖線部の「そびえる」の二つの文節は、どのような関係にあるか。後のア～エから一つ選び、その記号を書け。

山が　高く　そびえる。

ア　主語・述語の関係　　イ　修飾・被修飾の関係　　ウ　補助の関係　　エ　並立の関係

【高知県】

十二 次の文章は、交通安全ボランティアなどでお世話になっている地域の方々に宛てて、中学生が作成した運動会の案内状の一部です。あとの問いに答えなさい。

> さて、今年の夏休みも終わり、いよいよ運動会が近づいてきました。私たちは、集団演技や個人競技の練習に、毎日一生懸命取り組んでいます。
> つきましては、日頃からお世話になっている地域の方々にも運動会においでいただきたいと考えています。私たちの練習の成果をぜひごらんになってください。お忙しい中とは存じますが、よろしくお願いいたします。

「なっている」の二つの文節はどのような関係にありますか。次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　主語・述語の関係　　イ　修飾・被修飾の関係　　ウ　並立の関係　　エ　補助の関係

【鳥取県】

第一講　文法

Step 1

一

解答　ウ

解説　修飾語と被修飾語は続けて読んで一つのまとまりのある文となる。よくどうするのかということを述べた部分にかかる。

二

解答　ア

解説　「ない」をつけると直前の音が「エ段」の音になる下一段活用の動詞と、「ア段」の音になる五段活用の動詞を区別する。

三

解答　1

解説　主語を表し、「が」に置きかえることができる「の」が二つある。下の名詞につなげて連体修飾語をつくる「の」や、「こと」と言いかえられ、体言のかわりをする「の」と区別する。

四

解答
イ

解説
手段や方法を表す格助詞である。アは、言い切りの形が「～だ」となる形容動詞の活用語尾。ウは、推定を表す助動詞「ようだ」の一部。エは接続助詞「て」の音が濁ったもの。

Step 2

五

解答
(2)

解説
(2)は「聞く」の謙譲語で、語り手自身の動作に用いる。(1)は「見る」、(3)は「する」、(4)は「来る」の尊敬語で、相手の動作に用いる。

六

解答
ウ・オ

解説
「いただく」「申し上げる」は、自分や身内の言動に対して用いる謙譲語。「お客さん」の言動に対しては、「召し上がる」「おっしゃる」などの尊敬語を用いる。

七

解答
イ

解説
「拝見する」は謙譲語。先生に見てもらう場合には、「ご覧ください」などの尊敬語を使う。

八

解答
エ

解説
「母」にとって、「先生」は目上の人である。「申し上げる」は、「言う」の謙譲語。

Step 3

九

解答
イ

解説
副詞の「ゆっくり」が動詞（用言）の「歩く」を修飾している。

十

解答
一、ウ　二、イ

解説
一、活用しない自立語で、用言を修飾する。「…ように」というたとえの語と呼応することにも着目する。
二、「高く」は、山がどのようにそびえているかを説明した文節で、「そびえる」という述語にかかっている。

十二

解答

エ

解説

お世話に「なる」に、「いる」がついて、お世話になる状態が続いているという意味を添えている。